

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月20日

事業所名 サクラサクいしえ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	・室内の動線や機器の配置など工夫している。 ・その日の利用児数に応じて、使用する部屋を使い分けている。	安全に配慮したスペースを確保していきけるよう、都度話し合い工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切である	1	5		職員配置数の基準は満たしているが、支援の質を高める為、4月より職員を新規採用の予定です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	・部屋出入口の幅が狭いので、クッションガードを取り付けている。	冬は外のスロープが雪が積もってしまうので、都度雪かきをしています。玄関内スロープの縁が、バギーの方向転換時にタイヤが引っかかり危険な時がある為、今後削除を検討しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・汚れを感じた時は、都度掃除する様にし、衛生管理を心がけている。 ・その日の利用児の行動範囲を考慮し、広いスペースを確保するようにしている。 ・危険のないよう整理整頓、環境整備を心がけている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	・定期的に職員会議を開催してフィードバックをし、改善点を話し合っている。	定期的に職員会議を開催し、フィードバックし、改善点を見つけ検討していますが、今後も支援の統一を基本にし、業務改善に邁進します。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		今回が初めての実施。来年度より、年に1度保護者様へ事業所評価の記入をお願いし、保護者様の意見や意向の把握を全職員で共有し改善していきけるよう努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4		今回が初めての実施。玄関掲示やホームページにて公表します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		今後、第三者による評価をして頂き、業務改善につなげていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・外部、所内の研修ともに頻りに実施されており参加しやすいよう日程や人員の調整をしている。 ・職場内研修を行い、その都度つまづきがある事を共有し改善に向けている。	定期的に事業所内研修を実施しています。必要時には小児在宅支援センターに講習や研修を依頼したり、外部研修にも参加しています。今年度は外部研修の機会を更に増やしていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・アセスメントを行う為の情報収集を保護者のモニタリングや普段の子どもの様子を職員間で共有し、ニーズや課題を様々な視点から分析し、計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		標準化されたアセスメントツールについて不十分な部分があるので、今後検討し改善していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		保育士がメインで立案しているため、今後は看護師の意見も含め、チームで行っていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		その日のお子様の利用状況によって、似たような活動内容になることがあるので、改善していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6	0	・その日のお子様の利用状況に合わせた個別活動や、集団活動の内容を考えて実施し、支援計画に反映させている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2		その日のお子様の利用状況によって、打ち合わせが不十分になる日があるので、職員間で改善していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・管理者、保育士、看護師共に、その日疑問に思ったことや改善点を話し合い、振り返りを行っている	その日のお子様の利用状況、職員の就業時間によって、振り返りが不十分になる日があるので、翌日振り返りを職員間で情報共有しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		個別に個人記録を作成し、都度支援内容やその結果に基づき、検討していきます。
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・保護者様からの情報を基に、担当職員と話し合い、都度支援内容を見直している。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・管理者、保育士、看護師が参加し、多職種での参加が出来る。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		医療、保育、教育等の関係機関と連携体制は取れているが、地域の保健等の部分で不十分ではあるので、今後検討していきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	・主治医から指示書や意見書を頂き、確認事項があれば、都度連絡を取り確認している。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	・就学前相談等で教育研修センターの方と情報共有したり、情報提供を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	・新年度より就学する児童の情報交換や面談を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・小児在宅支援センターの医師や看護師より助言等をいただいたり、WEB研修などで情報を得ている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		受け入れしているお子様に医療ケア・重心児が多い為難しいが、今後機会を検討していきます。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		今後、機会があれば検討し参加していきます。
適切な支援の提供	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	・申し送りを行っている。 ・モニタリング以外でも、退院時など情報共有を行い共通理解に向けた関わりを心がけている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	・利用児の担当の訓練士等を事業所に招き、母にもご参加いただいで、皆でポジショニングや抱き方等のレクチャーを受けた。	ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者様からの困り事や相談があった場合は、いつでもお話を聞き必要に応じて、職員で検討し助言やアドバイスを行っている。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時に管理者が行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	・相談があれば、都度関係機関と連携し、必要な情報を提供している。 ・無回答1	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		今後、そのような機会を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・自分がわからない事は管理者に相談している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・連絡帳に日々の様子を記載し伝え、季節毎のおたよりを作成し、日々の活動状況を伝えている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・守秘義務の徹底に努め、個人ファイルを丁寧に取り扱い必ずキャビネットに保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・言葉遣いなど、接遇を心掛けている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		対象としているお子様が医ケア児・重心児が多い為難しいが、今後機会を検討していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		各マニュアルは策定しているが、保護者様への周知が不十分なので、今後は周知して頂けるよう努めます。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・2ヶ月に1回避難訓練実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1		今後、予防接種についても確認していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	・無回答1 ・アセスメントで食物アレルギーの有無を確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・無回答1	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・無回答1	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		